

オオカワチシャは、
「特定外来生物」です。



この植物を植えたい、広げたい
することは、法律で禁止さ
れています。

※ オオカワチシャは、日本の生態系に重大な影響を及ぼすおそれがある植物として、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」による 特定外来生物に指定され、栽培や生きたままの運搬が禁止されています。

オオカワヂシャ

<ゴマノハグサ科 1年～多年生草本>

<ヨーロッパ～アジア北部原産>



【特徴】

全体が無毛

花:開花期は4～9月

淡紫色～白色の花を多数つけ、果実は球形。

花の直径は5mmほど

茎:高さは30～100cm

地中を横走する根茎から茎を直立させる。

葉:長楕円形～披針形

鋸歯が不明瞭で、ほとんど全縁に見える。

生育場所:一般に、湖沼や河川の岸辺、水田、湿地に生育。

【繁殖方法】

種子、地下茎により繁殖する。

種子は風、雨、動物などにより伝播される。

【影響・被害】

在来種との競合や駆逐など、在来種に対して悪影響を与える恐れがあります。在来種のカワヂシャ(いしかわレッドデータブック絶滅危惧Ⅰ類)と交雑し、遺伝的な攪乱を生じさせる恐れがあります。

駆除方法

- ・花が咲き、**種子ができる前(4月～5月中旬)に実施**しましょう。できる限り、**根から抜き取り**をしてください。抜き取りが難しい場合は、**種子がつく前に刈り取り**ます。
- ・駆除した植物は、**ゴミ袋に入れ封をし、その場で枯死**させ、燃えるゴミとして処分してください。
- ・オオカワヂシャがたくさん生えている場所の土には、たくさんの種子が含まれています。土の移動により種子を拡げてしまわないようご注意ください。
- ・希少な植物が生育していない場所など、除草剤を用いても良い場所では、除草剤を用いた駆除も有効です。